

平成 29 年度 大学等におけるインターンシップ実施状況について

I. 調査内容

- (1) 調査時期 : 平成 30 年 7 月～10 月
- (2) 調査対象 : 大学 (780 校 (学部 756 校・大学院 629 校))、短期大学 (337 校)、高等専門学校 (57 校)
- (3) 対象期間 : 平成 29 年度 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)
- (4) 回答率 : 91.1 %

※本調査において「インターンシップ」とは、「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」としてしています。

II. 調査結果(概要)

1. 単位認定を行うインターンシップと単位認定を行わないインターンシップの状況

(1) 学校数・割合 [P.4]

インターンシップを単位認定している大学 (学部・大学院) と単位認定はしていないが学生の参加状況を把握・関与している※1 大学 (学部・大学院) の合計は 693 校 (88.8%) ※2。

※1 授業科目以外 (正課外) で行われるインターンシップであり、大学等を通じて対応しているもの (大学等のキャリアセンター等が窓口となって組織としてインターンシップの紹介・斡旋するなど大学等が把握・関与しているもののみ) を指す。以下同じ。

※2 単位認定を行うインターンシップと単位認定を行わないインターンシップ のいずれか又は両方を行っている大学の合計。

(2) 参加学生数・参加率 [P.4]

単位認定されるインターンシップと単位認定されないインターンシップ※1 に参加した学生 (学部・大学院) の合計は 668,503 人 (23.5%) ※2。

※1 大学が把握・関与している分のみ。

※2 参加学生数は、単位認定を行うインターンシップと単位認定を行わないインターンシップのいずれか又は両方に参加した学生の合計。

参加率は平成 29 年度学校基本調査における各学校種の学生数を基に算出。以下同じ。
参加学生数は延べ人数。以下同じ。

2. 単位認定を行うインターンシップの状況

(1) 学校数・割合 [P.5]

単位認定している大学 (学部・大学院) は 565 校 (72.4%) ※1 (前回 581 校 (74.3%) と比較して 16 校 (1.9 ポイント) 減少)。

※1 「特定の資格取得に関係するもの」を除く。「特定の資格取得に関係するもの」とは、特定の資格取得のために現場で実施する実習 (例: 教育実習、看護実習、臨床実習等) を指す。以下 (2) ～ (13) において同じ。

(2) 国公立別学校数・割合 (大学 (学部・大学院) のみ) [P.5]

国公立別では、国立大学での実施率が最も高い。

(3)参加学生数・参加率 [P.6]

単位認定されるインターンシップに参加した学生(学部・大学院)は 614,136人(21.6%)。
うち特定の資格取得に関係しないインターンシップに参加した学生は 82,343人(2.9%)
(前回 86,248人(3.1%)と比較して3,905人(0.2ポイント)減少)。

(4)国公立別参加学生数・参加率(大学(学部・大学院)のみ) [P.6]

国公立別では、公立大学の学生の参加率が最も高い。

(5)実施学年(体験学生数構成比) [P.7]

実施学年別では、学部3年・修士1年・短期大学1年・高等専門学校4年での参加が最も多い(特定の資格取得に関係しないもの)。

(6)実施時期(体験学生数構成比) [P.8]

実施時期別では、大学(学部・大学院)・高等専門学校は 8月・9月(夏期休暇期間中)、短期大学は 2月・8月・9月(春期・夏期休暇期間中)の参加が多い。

(7)実施期間(体験学生数構成比) [P.9]

実施期間別では、各学校種とも 2週間未満での参加が多い(大学(学部・大学院)・短期大学では1週間～2週間未満、高等専門学校では2日～1週間未満が最も多い)。

(8)実施地域(体験学生数構成比) [P.9]

実施地域別では、各学校種とも 関東での実施が最も多い。

(9)単位数(体験学生数構成比) [P.10]

単位数別では、各学校種とも 2単位以下での実施が多い(大学(学部・大学院)・短期大学では2単位、高等専門学校では1単位が最も多い)。

(10)必修・選択(体験学生数構成比) [P.10]

必修・選択別では、各学校種とも 選択が最も多い(特定の資格取得に関係しないもの)。

(11)報酬等の支給(体験学生数構成比) [P.11]

報酬等の支給の有無については、大学(学部・大学院)・短期大学において受入れ企業等から学生に対して 支給されていない場合が多い。

支給されている場合は、大学(学部・大学院)・高等専門学校では実費・交通費のみの支給が多い。

報酬の有無別の実施期間は、各学校種とも 2週間未満での参加が多い。

(12) インターンシップに参加した外国人留学生数 [P.12]

大学（学部・大学院）で 1,865 人、短期大学で 107 人、高等専門学校で 68 人の外国人留学生が日本国内でのインターンシップに参加した。

(13) 海外インターンシップの実施状況 [P.12]

海外インターンシップは、高等専門学校での実施率が最も高い。国別は、アメリカが多い。実施期間別では、各学校種とも 1 週間～2 週間未満での参加が多い。

3. 単位認定を行わないインターンシップの状況

(1) 学校数・割合 [P.14]

インターンシップを単位認定していないが学生の参加状況を把握・関与している大学（学部・大学院）は 408 校（52.3%）（前回 443 校（56.6%）と比較して 35 校（4.3 ポイント）減少）。

(2) 国公立別学校数・割合（大学(学部・大学院)のみ) [P.14]

国公立別では、国立大学が最も割合が高い。

(3) 参加学生数・参加率 [P.15]

単位認定されないインターンシップに参加した学生(学部・大学院)は 54,367 人（1.9%）。（前回 51,243 人（1.8%）と比較して 3,124 人（0.1 ポイント）増加）。

(4) 国公立別参加学生数・参加率（大学(学部・大学院)のみ) [P.15]

国公立別では、国立大学の学生の参加率が最も高い。

(5) 学年(体験学生数構成比) [P.15]

学年別では、学部 3 年・修士 1 年・短大 1 年・高専 4 年での参加が最も多い。

(6) 時期(体験学生数構成比) [P.16]

時期別では、各学校種とも 8 月・9 月（夏期休暇期間中）での参加が多いが、2 月（春期休暇期間中）での参加も多い。

(7) 期間(体験学生数構成比) [P.16]

期間別では、各学校種とも 1 週間未満での参加が多い。

(8) 実施地域(体験学生数構成比) [P.16]

実施地域別では、大学（学部・大学院）・高等専門学校は関東での実施が最も多い。